

” みんなで拓こう子どもの未来” フォーラム

開催要項

《開催趣旨》

日本の少子化の波は近年急速に進展しており、2017年の出生数は過去最少の94万6千人と、2年連続して100万人の大台を割りました。

一方、虐待や貧困、離婚などが理由で、親と暮らせない子どもたちは年々増加しており、現在、里親やファミリーホーム、児童養護施設など「社会的養護」で育つ子どもは、全国でおよそ4万5千人に上ります。

この子ども達が社会へ巣立ち、”自立”していくためには多くの困難に直面します。さらに、社会へ出た後も、実家などの精神的・経済的な拠り所もなく、多くの子ども達が孤立し、貧困や心の傷を抱えています。

こうした子ども達に向けた、地域の企業家たちの“自立”を見守る取組みが京都で始まっています。

このたびのフォーラムでは、社会的養護の子ども達の就労体験支援という地域社会の取組を紹介するとともに、そうした子ども達が社会に受け入れられ、社会人として自立していける、そんな地域づくりを地場の企業人の方々ととともに考える機会とするものです。

つきましては、本フォーラムへの格段のご協力ご支援を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

《事業概要》

1. 主催：北海道ファミリーホーム協議会
2. 共催：旭川子どもの虹実行委員会
3. 協力：北海道里親会連合会・札幌市里親会・道北双葉里親会
4. 後援：北海道・札幌市・旭川市
5. 事業名：“みんなで拓こう子どもの未来” フォーラム
6. 開催日・会場
 - (1)平成30年8月22日（水）開会 14:00～16:30
【札幌】：札幌市教育文化会館 4階講堂（札幌市中央区北1条西13丁目）
 - (2)平成30年8月23日（木）開会 14:00～16:30
【旭川】：アートホテル旭川 2階 ウエスト（旭川市7条6丁目）
7. プログラム
 - 【札幌会場】
司会進行：松崎 貴美子（ファミリーホーム 風音）

1) 社会的養護の現状（行政説明）

- もりもと ひでき
・ 森本 秀樹 北海道保健福祉部子ども未来推進局

子ども子育て支援課 自立支援担当課長

2) 基調報告

- まえかわ じゅん
・ 前川 順 ジュンブライダル 代表取締役 （京都府宇治市）

3) フォーラム

コーディネーター：

- きたがわ さとこ
北川 聡子 （北海道ファミリーホーム協議会 副会長）

パネリスト：

- まえかわ じゅん
前川 順 （㈱ジュンブライダル 代表取締役、京都中小企業家同友会）

- ありた きょうし
有田 京史 （㈱有田ビル代表取締役、新札幌ロータリークラブ）

- おおば しんいち
大場 信一 （社会福祉法人 北翔会 総合施設長）

- にしの ともこ
西野 智子 （ファミリーホーム ひかり）

- ほし まさひろ
星 正博 （札幌市里親会 副会長）

- やながわ くみこ
柳川 久美子 （㈱ライズエンジニアリング 取締役、北海道中小企業家同友会）

【旭川会場】

- てらおかゆうこ
司会進行：寺岡 祐子 （道北双葉里親会、中富良野町議会議員）

1) 社会的養護の現状（行政説明）

- いとう ひろこ
・ 伊東 裕子 北海道旭川児童相談所 所長

2) 基調報告

- まえかわ じゅん
・ 前川 順 ジュンブライダル 代表取締役 （京都府宇治市）

3) フォーラム

コーディネーター：

いとう ひろこ
伊東 裕子 (北海道旭川児童相談所 所長)

パネリスト:

まえかわ じゅん
前川 順 (株)ジュンブライダル 代表取締役、京都中小企業家同友会)

さとう ひろこ
佐藤 弘子 (株)ポプラ館 代表取締役社長、北海道中小企業家同友会)

ただ つとお
多田 伝生 ((社福) 旭川育児院 院長)

とうごう めいこ
東郷 明子 (ファミリーホーム第三者委員、旭川家庭裁判所調停委員)

はやかわ かつし
早川 克史 (株)豊岡建設・(株)早川運輸 代表取締役、大雪ライオンズクラブ)

ふじせ かずとし
藤瀬 和寿 (道北双葉里親会 会長)

(※敬称略)

○基調報告者プロフィール

前川 順 氏 (1959年 京都市生まれ)

ジュンブライダル(京都府宇治市) 代表取締役

1991年 ジュンブライダル設立

1992年 京都中小企業家同友会入会

2007年 同友会内に社会問題研究会設置

現在 京都中小企業家同友会ソーシャルインクルージョン委員会
社会的養護部会として活動